



# HD-300 Assistant

## 取扱説明書

Ver. 1.00

### はじめに

HD-300 Assistant のご利用、ありがとうございます。  
このアプリには、HD-300 本体をより便利に使うための機能が搭載されています。  
本書をよくお読みいただき、本体と合わせてご活用ください。

## このアプリで できること

- **本体機能を拡張する**: リモートコントロール、拍子・テンポメモリ、個別音量 / ピッチ\*
- **本体を使ってハーモニーの感覚を伝える**: 体感モード (和音のうなり、バランス)
- **アプリ単体で便利機能を使う**: チューナー、コード判定

※今後、リズム再生機能が追加される予定です。

## 目次

### 基本の使い方

#### 準備

- アプリのダウンロード、インストール
- HD-300 本体との接続

#### 共通操作

- 機能選択: 選択メニューから選ぶ
- 機能選択: ショートカットを使う
- 編集操作: 選択、変更、削除、決定 / キャンセル

### 各機能の使い方

#### 機能一覧

(→各画面の説明)

### 準備

- ・アプリのダウンロード、インストール
- ・HD-300 本体との接続

### 共通操作

- ・機能選択：選択メニューから選ぶ
- ・機能選択：ショートカットを使う
- ・編集操作：選択、変更、削除、決定 / キャンセル

## アプリのダウンロード、インストール

iPhone/iPad App Store で、「HD-300 Assistant」で検索し、インストールします。

### ご注意

iOS/iPad OS のバージョンを 14.3 以降にして本アプリをご使用ください。14.2 以前のバージョンの場合、アプリが予期せぬ動作をしたり、停止したりすることがあります。

### NOTE

初回起動時に、マイクの使用と Bluetooth の使用許可を求めるポップアップが出ます。それぞれ [OK] をタップしてください。許可しなかった場合、アプリが正常に動作しません。

起動時に「許可しない」を選んでしまった場合は、iPhone/iPad の [設定] → [HD Assistant] で許可設定をすると、正常に動作するようになります。

## HD-300 本体との接続 (1/3)

iPhone/iPad と HD-300 本体との間で、通信用のペアリング（紐付け）操作をします。Bluetooth を使いますが、iPhone/iPad 標準機能の Bluetooth 設定（オーディオ用）とは別の接続です。本アプリ上から設定する必要があります。

### 1. HD-300 と iPhone/iPad の Bluetooth 機能をオンにします。

1-1. HD-300 の電源を入れ、[ 設定 ] ボタンでメニューを開きます。

1-2. [ > ] ボタンと [ − ]/[ + ] ボタンを使って、「Bluetooth」を「On」にします。

#### NOTE

このとき、「Bluetooth」を「Pairing」にはしないでください。

1-3. iPhone/iPad の Bluetooth を有効にします。

詳しい方法は、iPhone/iPad の取扱説明書を参照してください。

## HD-300 本体との接続 (2/3)

2. アプリと本体が通信するためのペアリング設定をします。

2-1. 以下のどちらかを実行して、接続設定画面を開きます。

- ・「HD-300 Assistant」アプリを起動する
- ・アプリが起動済みの場合は、画面右上の＊をタップする



接続設定画面に、接続可能なデバイスが表示されます。

2-2. デバイス名から、「HD300」を含む名前をタップして、接続処理を開始します。

右側の表示が「未接続」から「接続済み」になったら接続完了です。

## HD-300 本体との接続 (3/3)

### 3. 画面右上の [ 完了 ] をタップして、設定画面を閉じます。

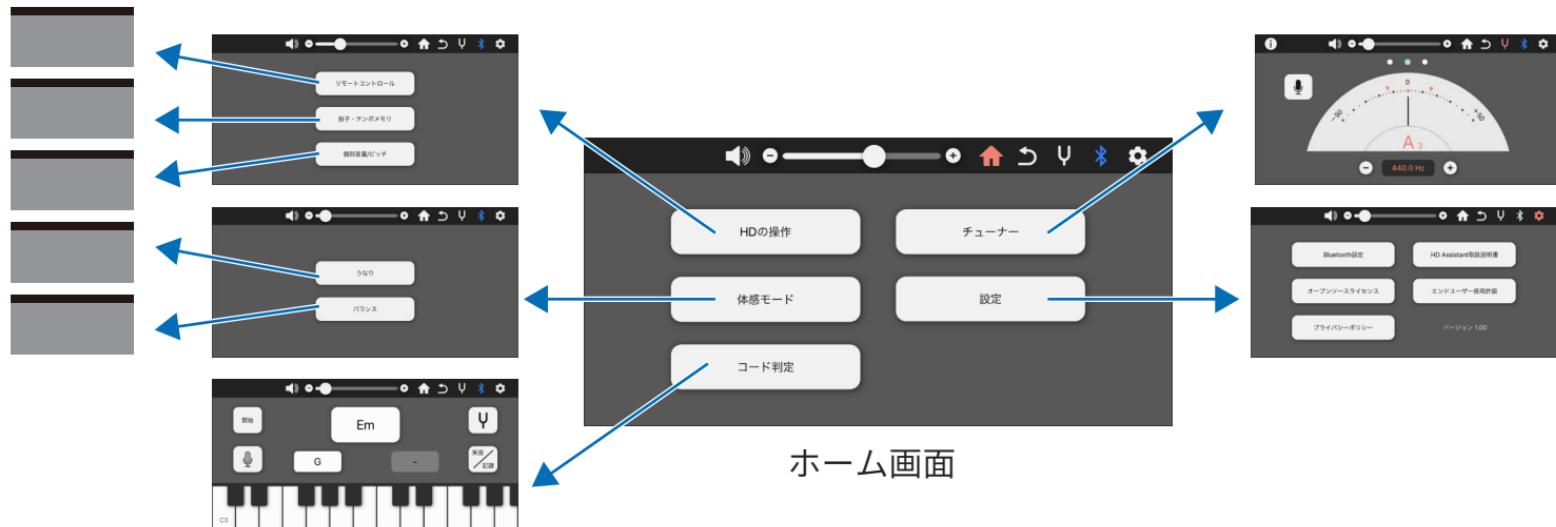
ホーム画面右上の **\*** 表示に色が付き、アプリの操作結果と本体の操作結果が同期するようになります。

### 本体との接続で困ったときは

- ◆ デバイスが見つからない、または「オフライン」と表示される
  - ・本体の電源が入っていることを確認してください。
  - ・本体の設定で、「Bluetooth」が「On」になっているかを確認してください。
  - ・本体の電源を一度切り、入れ直してください。
- ◆ 接続に失敗する
  - ・本体の電源を一度切り、入れ直してください。
  - ・HD-300 Assistant アプリを一度終了して、再起動してください。
  - ・iPhone/iPad の Bluetooth 機能が有効かどうか、確認してください。
  - ・iPhone/iPad の「設定」→「HD Assistant」で、Bluetooth 通信が許可されているかを確認してください。

## 機能選択：選択メニューから選ぶ

ホーム画面から白いボタンをタップして移動します。



## 機能選択：ショートカットを使う

一部の画面を除いて、画面上部にショートカットが常に表示されます。



HD-300 本体の全体音量を調節します。



アプリのホーム画面に移動します。ホーム画面が表示されているときは色がつきます。



一つ前の画面に戻ります。



チューナー画面に移動します。チューナー画面が表示されているときは色がつきます。



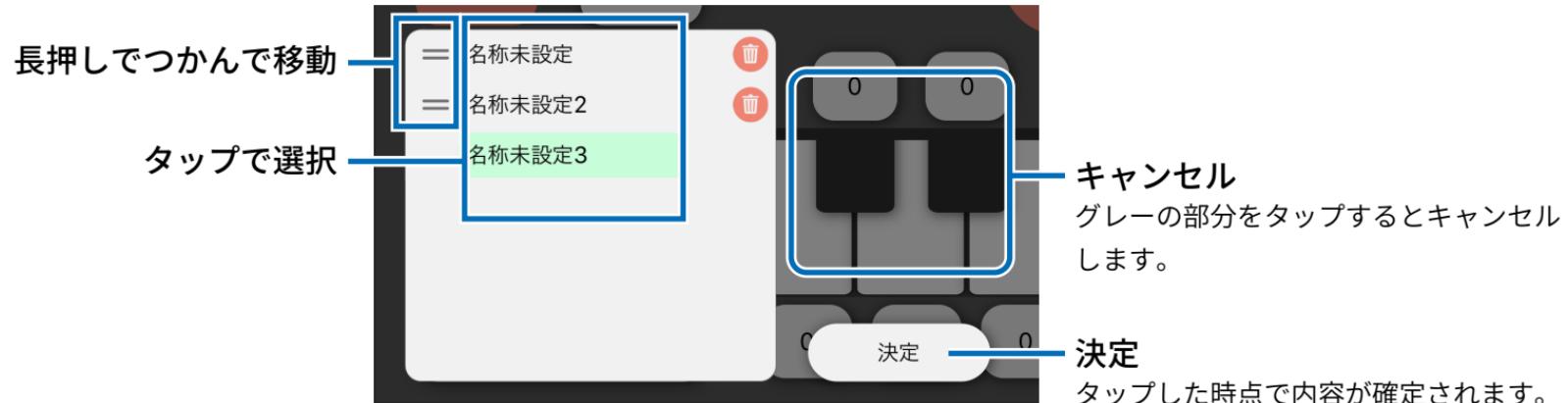
HD-300 本体との接続設定画面を開きます。接続できているときは色がつきます。



設定画面に移動します。設定画面が表示されているときは色がつきます。

## 編集操作：選択、変更、削除、決定 / キャンセル

選択や変更、保存などのポップアップが出たときの操作について説明します。



対応するアイテムを削除します。削除については [決定] をタップしなくても確定します。

## 機能一覧

各機能の画面または機能名をタップすると、各機能の説明ページに移動できます。

ホーム



HD の操作



体感モード



[リモートコントロール](#)

[拍子・テンポメモリ](#)

[個別音量 / ピッチ](#)

[うなり](#)

[バランス](#)

[コード判定](#)

[チューナー](#)

[設定](#)

接続中の HD-300 本体を、アプリから操作します。

## 通常時 ①

### 平均律 / 純正律の選択

(ユーザー音律を使う場合は「[個別音量 / ピッチ](#)」へ)



[メトロノーム詳細を開く](#)

### メトロノーム操作

テンポ基準音符の確認

テンポ、拍子の確認、設定

メトロノームの再生 / 停止

## NOTE

[純正律] を選択したときに [純正律] 表示が緑色の場合、調はロックされています。

ロック / ロック解除については、アプリからは変更できません。必要な場合は、本体を直接操作してください。

接続中の HD-300 本体を、アプリから操作します。

## 通常時 ②



### 画面内鍵盤の持続オン / オフ

画面内の鍵盤の持続のみをオン / オフします。  
本体の持続とはそれぞれ独立しています。

### 調表示 (→ [NOTE](#))

本体と異なり、コード表示ではなく、  
根音と長調系 (maj) / 短調系 (min) の区別を表示します。

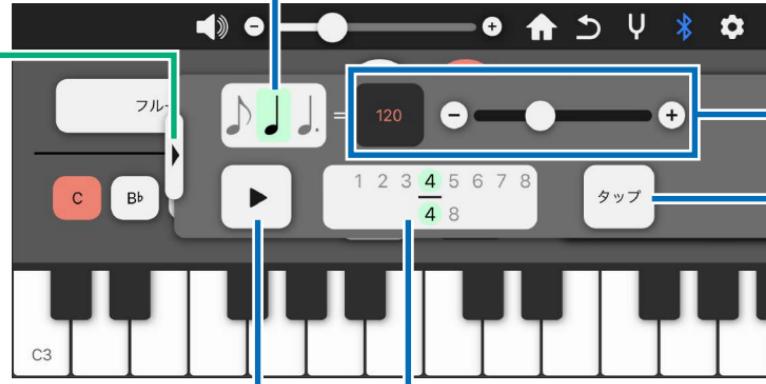
### 鍵盤

触れた部分を本体に発音させます。  
調の入力にも使えます。フリックで  
オクターブを変更できます。

## メトロノーム詳細

## テンポ基準音符

メトロノーム詳細を  
閉じる



テンポ

タップ

本体の [タップ] ボタンと同様の効果です。

メトロノームの再生 / 停止

拍子 (シンプル)

変拍子を使う場合は「[拍子・テンポメモリ](#)」へ

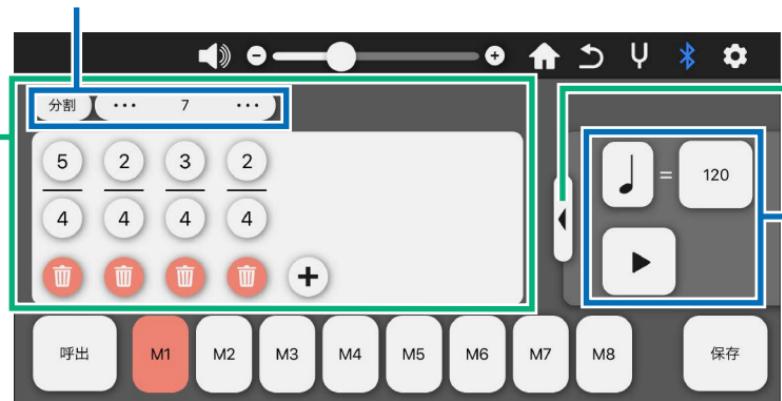
拍子・テンポメモリをコントロールします。  
M1～M8 のセットを複数保存して、後から呼び出せます。

## 通常時 ①

### 拍子の分割 / 統合

タップすると対応する拍子の分割案が出てくるので、選んで「決定」をタップすると、拍子を分割できます。再度タップすると分割前の拍子に戻ります。

**拍子の編集**  
拍子の変更 / 追加 / 削除  
ができます。



[メトロノーム詳細を開く](#)

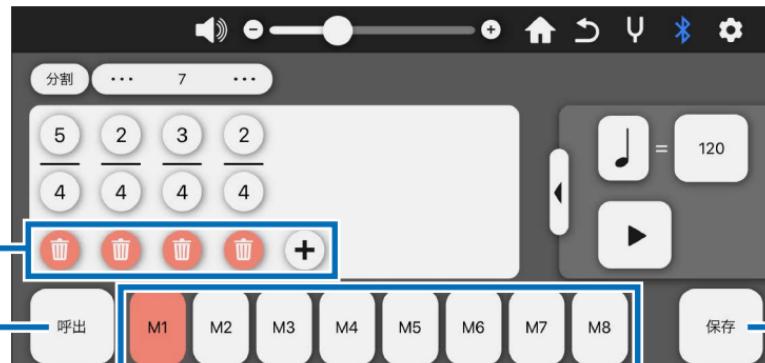
### メトロノーム操作

テンポ基準音符の確認  
テンポ、拍子の確認、設定  
メトロノームの再生 / 停止

拍子・テンポメモリをコントロールします。  
M1～M8 のセットを複数保存して、後から呼び出せます。

## 通常時 ②

**拍子の追加 / 削除**  
**メモリバンクの呼出**  
M1～M8 を 1 セットとして、  
アプリ内に保存されている  
値を呼び出します。



### メモリの選択

M1～M8 のどれを編集するかを選びます。  
内容は本体にリアルタイムで送信されます。

### ご注意

- メモリバンクの呼出を使うと、本体の M1～M8 の内容はアプリ側のデータで上書きされます。必要な場合は、この機能を使う前に保存してください。
- アプリで編集した拍子・テンポは、本体と接続する前に保存してください。

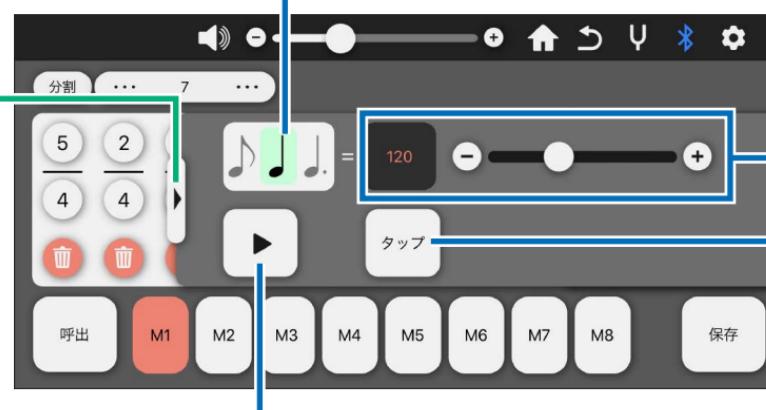
### メモリバンクの保存

M1～M8 を 1 セットとして、名前をつけてアプリ内に保存します。

## メトロノーム詳細

メトロノーム詳細を閉じる

### テンポ基準音符



テンポ

タップ

本体の [ タップ ] ボタンと同様の効果です。

メトロノームの再生 / 停止

個別音量 / ピッチを設定します。本体の音律モードは自動的に「User」に切り替わります。プリセットから設定を選んだり、独自の設定を作って保存 / 呼出ができます。

## 通常時

### プリセット音律

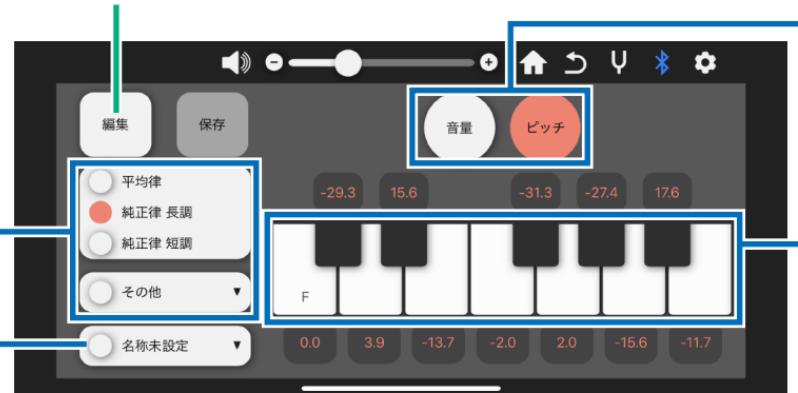
プリセットの音律を選択します。

### 保存済みの音律

編集 / 保存済みの音律を選択します。

### 編集モードに移行 (次ページ)

選択中の設定をコピーして、新しい設定を作ります。



### NOTE

各鍵盤に対応する数字 (音量 / ピッチ) は、通常時は変更できません。編集モードでのみ変更が可能です。

## 音量 / ピッチ切り替え

### 鍵盤

触れた部分を本体で発音させます。この画面では、鍵盤に根音が表示されます。左の図の「F」が長調系の根音の表示例、下の図の「B♭」が短調系の根音の表示例です。



編集中も、数値はリアルタイムで本体に反映されます。

## 編集モード：編集中

[保存先選択に移行 \(次ページ\)](#)

編集中の設定を保存します。

**編集中の設定名**  
保存時に名前を編集  
できます。



音量 / ピッチ切り替え

各鍵盤の音量 / ピッチ

タップしてポップアップを出し、  
数値変更します。

個別音量 / ピッチを保存します。音量とピッチはセットで保存されます。

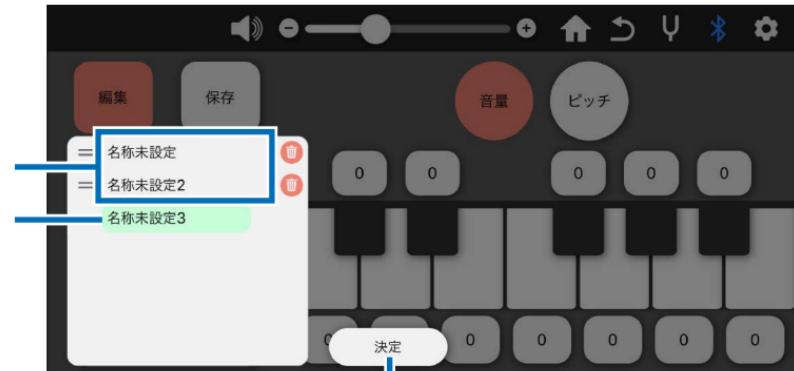
## 編集モード：保存先選択

### 保存済みの設定名

タップしてリネームや削除ができます。  
ここに上書き保存することもできます。

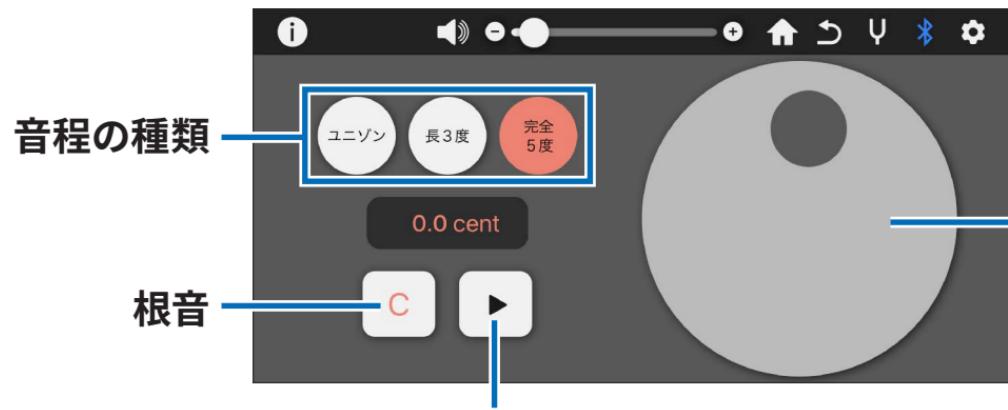
### 編集中の設定名

ここを選択した状態で決定すると、  
新規保存されます。



保存を確定し、[通常時](#)に戻る

HD-300 本体を使って、わずかなピッチのずれによる「うなり」を示します。



**音の再生 / 停止**  
設定した音を本体に発音させます。

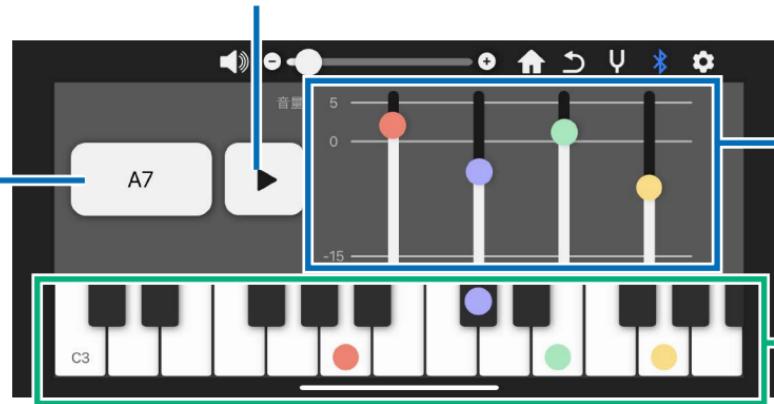
**ピッチ差調節ダイアル**  
ピッチのずれを調節します。  
純正律の音程付近で緑色になります。ダブルタップで純正律に合わせることができます。

HD-300 本体を使って、和音の音量バランスを示します。

### 和音の再生 / 停止

設定した音を本体に発音させます。

和音の種類



### 音量調整スライダー

各スライダーは、鍵盤上の同じ色でマークされた音と連動しています。

### 鍵盤

触れた部分を本体で発音させます。

iPhone/iPad のマイクを使って、入力音のコードを判定します。

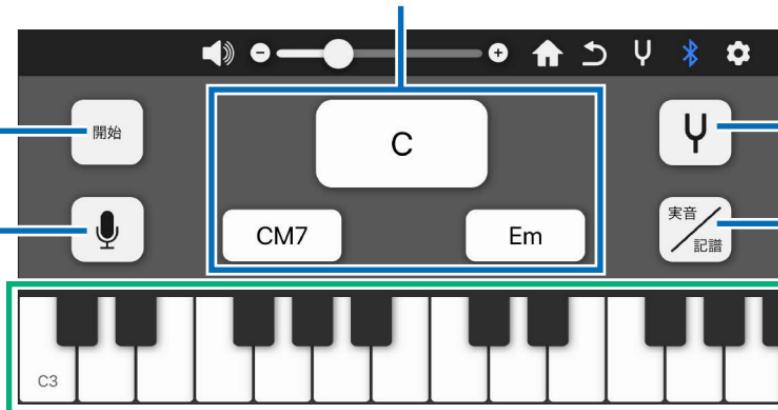
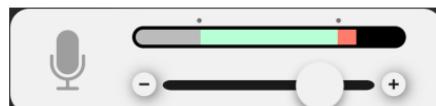
## 判定結果 (候補)

コード判定結果を最大 3 つ表示します。タップすると、HD-300 本体に和音を発音させることができます。

判定開始 / 停止

マイクの感度調整

タップするとゲージとスライダーが表示されます。マイクからの入力音が緑色の範囲内に収まるようにスライダーを調整します。



鍵盤

触れた部分を本体で発音させます。

チューナーを開く

判定結果を残したままチューナーを呼び出せます。操作方法はチューナー画面と同じです。

構成音名を見る

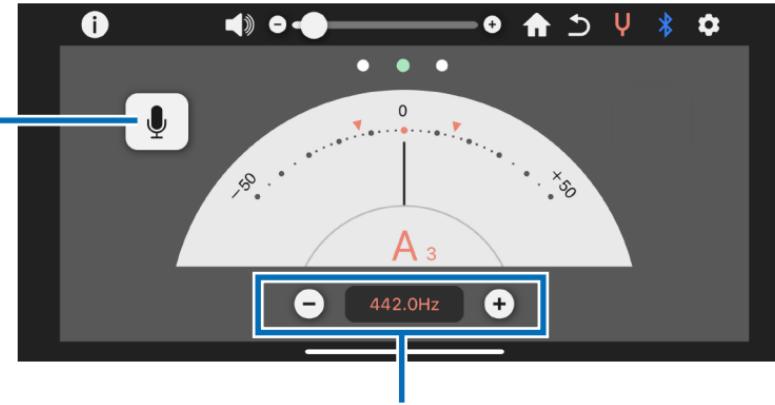
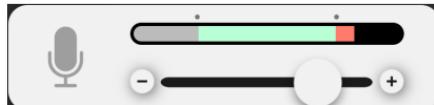
最後にタップした判定結果の和音について、構成音の実音表記と移調表記の対応表を表示します。

コード:	実音	C	E	G
C	in C	ド	ミ	ソ
	in B♭	レ	ファ♯	ラ
	in E♭	ラ	ド♯	ミ
	in F	ソ	シ	レ

iPhone/iPad のマイクを使ったチューナー機能です。

### マイクの感度調整

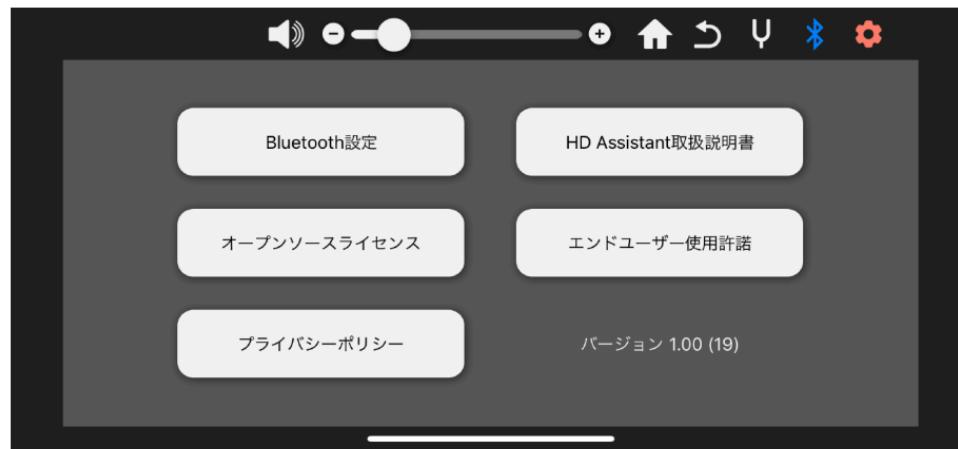
タップするとゲージとスライダーが表示されます。マイクからの入力音が緑色の範囲内に収まるようにスライダーを調整します。



### 基準周波数

HD-300 の基準周波数と同期します。

接続設定画面や、ライセンス等の表示、取扱説明書（本書）を呼び出します。  
アプリのバージョン番号もここに表示されます。



Manual Development Group  
© 2021 Yamaha Corporation  
2021年2月発行  
MW-A0